

23-1 教育研究評議会議事概要

日時 平成23年4月20日(水) 13:30~14:47

場所 総合研究棟Ⅱ 第1会議室

出席者 内田学長

武田, 田中, 滝, 朴, 坂口, 山本, 中川, 緒方, 江原, 児玉, 住田, 竹田
樹神, 井口, 八木, 丹保, 登, 駒田, 小林, 伊藤, 吉岡, 代理〔松村〕,
鶴岡, 福岡

◎ 学長から、新執行部(学長, 理事, 副学長), 評議員及び事務部の紹介があった。

◎ 前回議事概要の確認

学長から、事前にE-mailで確認した22-11教育研究評議会議事概要については、配付資料のとおり記録にとどめた旨の報告があり、了承された。

I 協議事項

1. 名誉教授称号の授与について

学長から、国立大学法人三重大学名誉教授称号授与規程に基づき、各学部・研究科等から17名の称号授与について申し出があった旨発言があり、企画総務部長からその内容について、「資料1」に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

また、学長から名誉教授称号授与式については、後日改めて通知する旨発言があった。

なお、事前に配付した資料は、個人情報保護の関係から本会議終了後に回収した。

2. 学長選考会議委員の選出について

学長から、任期が満了・交替に伴う学長選考会議委員の選出について、「資料2」に基づき説明の後、定年退職した学内共同教育研究施設等代表者 花見委員の後任として福岡昌子評議員を学長選考会議委員に選出したい旨発言があり、審議の結果、承認された。

なお、委員の選出方法については、平成16年4月2日及び平成21年9月15日開催の教育研究評議会において、病院長を医学系研究科に含め各学部・研究科から委員1名を選出、学内共同教育研究施設等代表者として委員に1名を選出する。また、地域イノベーション学研究科長については、専任教員の数が少ないため、委員選出の対象には含めない等の取り扱いが承認されている旨説明があった。

3. 三重大学大学院博士課程奨励制度による平成23年度学業成績等優秀学生候補者の選考について

学長から、本件については4研究科から、学業成績等優秀学生候補者の推薦があった旨発言があり、田中理事からその内容について、「資料3」に基づき説明の後、審議の結果、承認された。

また、学長から「三重大学大学院博士課程奨励制度に関する規程」第6条により、学業成績等優秀学生候補者について、学長が最終的に決定し、各研究科長に通知、当該学生に決定通知書を交付する旨報告があった。

なお、本日席上配布された「資料3」については、本会議終了後に回収した。

4. その他

なし

II 報告事項

1. 平成23年度入学者数について

田中理事から、平成23年度入学者数について、「資料4」に基づき報告があった。

2. 人文学部学生の懲戒処分期間の満了について

人文学部長から、3月16日の教育研究評議会において有期停学処分を科した学生について、停学期間が満了した旨の報告があった。

3. 学生の災害ボランティア活動について

田中理事から、学生の災害ボランティア活動について、「資料5」に基づき報告があり、意見交換の結果、「参加のガイドライン」等一部修正することとした。

4. 三重大学将来計画委員会（案）について

学長から、三重大学将来計画委員会（案）について、「資料6」に基づき報告があった。

5. 第5回三重大学先端研究シンポジウムの開催について

武田理事から、第5回三重大学先端研究シンポジウムの開催について、「資料7」に基づき報告があった。

6. 三重大学特別講演会の開催について

武田理事から、三重大学特別講演会の開催について、「資料8」に基づき報告があった。

7. その他

①東北地方太平洋沖地震被災者義援金の募集について

企画総務部長から、東北地方太平洋沖地震被災者義援金の募集については、多くの教職員から義援金が寄せられ、4月8日締切、総額で1,000万円となった旨報告があった。ついては、4月15日に日本赤十字社三重県支部に武田理事から義援金目録を贈呈した旨付言があった。

また、本学と大学間協定を締結しているコンケン大学（タイ国）から、義援金100万円が寄附され、本日、三重テレビと中日新聞社に各50万円を振り込み、医学系研究科長と安藤特任教授から、義援金目録を贈呈した旨報告があった。

②教育学部長から、天津師範大学日本語コース学生への書籍提供について、学長名通知（1月11日付け）で学内教職員に提供を依頼した結果、約100冊の書籍提供があった旨の報告と併せてご協力への謝辞があった。

③人文学部評議員から、昨年度10月開催の意見交換会で議論した「教養教育改革」の予定について確認したい旨発言があり、学長から、学長提案（案）を本日書き上げたので、田中理事と相談の上、近々に提案したい旨の説明があった。また、学長から、学長提案（案）については1年半から2年間位かけて慎重に議論してもらいたい旨の付言があった。

以上